

オピニオン

保育の質向上めざして

提言

村山市幼児教育・保育施設
連絡協議会は、2020年6

月に村山市の子育て支援策の
一つとして設立されました。
顧問に村山市出身で東京大学
大学院教授の遠藤利彦先生を
迎え、市内幼児教育・保育施
設の園長13人で構成されてい
ます。

この会は、研修を通し情報
の共有や相互交流を行い、保
育の質の向上と園の円滑な運
営を図ることを目的とし、市
内各施設的全職員を対象に年
2回の研修を実施していま
す。研修内容は、1回目には当
番施設を参観しての資質向上
研修、2回目は遠藤先生の講
演を聴き、自分の保育や園の
運営について考え、学びます。



村山市幼児教育・保育施設連絡協議会会長

井上 信也

幼児教育・保育施設に勤め
る私たちにとって研修に励む
ことは、関係法令や保育指針
で定められていることです。
各園では、保育内容の改善や
職位・職務の内容に応じた知
識・技能の向上を目指し、日
常的・計画的に園内研修を実
施したり、園外研修に参加し
たりしています。

それでは、なぜ新たに市
内全施設の職員が集まる研
修をする必要があるのではし
ょうか。

一つ目の理由は少子化への
対応です。少子化は国の大き
な課題の一つであり、村山市
でもその解決のために、人生
の要所で適切に支援を行う
「移住・定住・子育て支援
子育てスマイルプロジェクト」

「ト」を立案し、実行していま
す。現在、着実に成果を上げ
ているものの少子化の解決
にはまだ時間がかかるよう
です。

少子化という大きな課題の
改善は容易なことではありま
せん。それ故、関係機関や行
政のみに任せるのではなく、
国民・市民一人一人が少子化
に対し、それぞれの立場でで
きることを考え、実行してい
くのが大切なことではないか
と考えます。幼児教育・保育
にかかわる私たちにできる対
策は、一人一人の実践力を向
上させ、より良質な教育・保
育を市民に提供し、安心し
て子育てできる環境をつく
ることであり、それが少子化
対策・子育て支援に寄与でき
ることではないかと思ってい
ます。

二つ目の理由は、互いに見
合い・学び合う研修が必要だ
と感じるからです。これまで
は市内にある施設なのに、互
いの実践や施設の様子などこ
について交流する機会がほとん
どありませんでした。市には
現在、幼稚園、こども園、公
立・市立の保育園、小規模保
育施設があり、各施設はそれ
ぞれの特性を生かした素晴ら
しい実践をしています。それ
らを互いに見合わない、学び
合わないのは大変もったいな
いことです。

身近な実践こそ互いに理解
しやすく、日々の教育・保育
の改善に効果が高い学びがあ
るのではないのか。さらに近
くの施設で研修があれば多く
の職員が参加でき、たくさん
の学びの場を提供できるので
はないかと考えました。

先の新しい教育・保育につい
て学び、市全体で同じ方向を
向いて進んでいきたいとの会
員の強い願いによるもので
す。そこで、遠藤先生に顧問
就任を強くお願いし、定期的
に講演・指導を受けられる場
を設けました。

昨年度は、村山市戸沢保
育園を会場に第一回の研修会を
実施し、市内の各施設から約
60人が参加し学び合いまし
た。熱のこもったグループ討
議やびつりと書かれた感想
カードから、参加者の研修意
識・意欲の高さや研修を望む
強い思いが感じられました。

21年度も昨年度同様の研修
会を開く予定です。市内の幼
児教育・保育施設が垣根を低
くして学び合い、切磋琢磨し
て、良質な保育を市民に提供
し続けられることを目指して
進んでいきたいと考えてい
ます。

(東根市在住)

少子化対策へ寄与図る

施設の垣根越え切磋琢磨